

## 第2回 瀬戸内市総合計画審議会 意見要旨

日時 令和3年1月18日（月）

午前10時00分～午前11時30分

場所 瀬戸内市役所 2階 大会議室

### (1) 第3次瀬戸内市総合計画基本構想（素案）について 資料2 資料3

#### 【委員】

市の担当課において実施している「人・農地プラン」策定のためのアンケート結果も踏まえて、農業の担い手確保や、農業の活性化に努めていただきたい。

#### 【委員】

市内の中小企業について、国や市の支援が手厚く、コロナによる倒産は聞いていない。今後も引き続き中小企業への支援を手厚くしていただきたい。また、脱炭素社会の実現に向けて、電気自動車の充電設備の整備を進めていただきたい。

#### 【委員】

人口減少が進む中で「豊かな地域」とは何かを考え、移住・定住施策の目的を明確にし、人口バランスを長期にわたって整えていくことで、暮らしやすい地域になっていくのだと思う。また、移住だけにとどまらず、住まなくても地域に関わりをもって地域を活性化してくれる「関係人口」についても基本構想に取り入れてはどうか。

また「協働」とは、民間や地域団体と行政とが目線を合わせて、目標を設定し、事業を行い、その成果も一緒に分けあうことであるが、市役所職員と地域とのつながりが弱いように感じている。日頃からの情報交換などでつながりを作っていかなければ、本当の協働は実現できないと思う。つながりを作ることを検討いただきたい。

#### 【委員】

現在、電力需給が大変厳しくなっている。瀬戸内市では太陽光発電が多くあるが、供給が追いつかない状況である。太陽光だけに頼らず、新しい自然エネルギーの活用を検討してはどうか。

また、瀬戸内市にはスポーツを頑張っている子ども達がたくさんいる。その子たちを地域で支援・応援していくことで、大人になっても郷土愛を持ち続けてくれると思う。

#### 【委員】

指標の達成状況を確認し、下がっているものに対して重点的に取り組んでいただきたい。また、資料3（7ページ）「人口が著しく減少している地区で生活する市民にとって」

の部分に「地域の歴史・伝統文化などを守る環境づくりを進めます」という記載があるが、資料3（12ページ）の「将来の市民にとって」の部分との整合性、バランスを検討いただきたい。また資料3（9ページ）「農林水産業従事者にとって、瀬戸内市は農水産業で生活できるまちをつくりまします」の部分について、近年、農業者の高齢化や、従事者の減少、耕作放棄地の増加、鳥獣被害の多発など、大きく状況が変化している。その問題等について加えていただきたい。

また、資料3（14ページ）の基本理念7SDGsの文章中の「包摂性」が難しい表現であるため、分かりやすい表現にしてはどうか。

#### 【委員】

環境に関する視点が少し弱いと思う。資料3（7ページ）の「瀬戸内市で生活する人」の部分と、資料3（12ページ）の「将来の市民」の部分に書かれてはいるが、バランス配分などを検討いただきたい。環境や情報、協働、SDGsの視点はとても大事だと思っており、基本理念に書かれていることは大変素晴らしいと思うが、市民活動をする中で、各部署の政策でどのように活かされるのかが重要だと考える。

また、これからの10年で特に力を入れてほしいことは、情報の集約と発信である。市の各部署が、関連する活動や取組を十分に認識し、知りたい人に分かりやすく情報を発信していただきたい。また、市民活動に対して、市の各部署が連携してサポートを行っていただきたい。

#### 【委員】

資料2の「1120年後のまちの姿」のうち2項目について提案がある。「子どもたちが夢を持ち続けられるまち」については、例えば「子どもたちの夢を育むまち」としてはどうか。子どもたちは初めから夢を持っているわけではなく、家庭、地域、学校教育を通して夢を持つようになるため、育むという点に力点を置いたらどうか。また、「暮らしやすい国際性豊かなまち」は対象が限定的になっているので、「異文化を尊重し、共に生きることができる国際性の豊かなまち」としてはどうか。

#### 【委員】

高齢者の相談業務で一番困難であるのが認知症に関する相談である。広く市民や学校現場、企業で認知症を正しく理解し、対応していくことが大切だと思う。

また、コロナ禍で生活困窮の相談も多くなっている。表面上は普通に生活をしているも、コロナ禍のような状況下では大変弱い生活をされている方がいるということを再認識いただきたい。引きこもりの問題も重要である。基本構想に取り入れていただきたい。

**【企画振興課】**

ご意見を踏まえ、基本構想案及び基本計画案を作成し、次回（第3回）審議会でお示しする。

以上